

# かわにし

議会だより

第147号

2021

10.15



川西町議会H.P  
QRコード

おいしいよ～!  
川西米

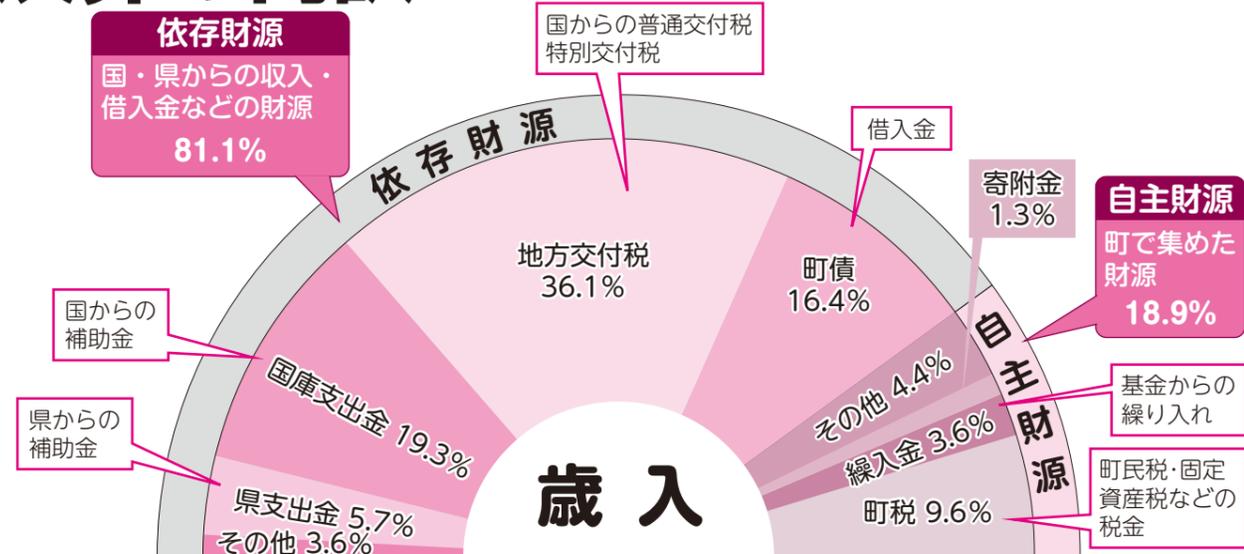
小松小学校の稲刈り P23に関連記事

令和2年度決算 決算審査 コロナ対策で苦心	… 2・4
7議員が町政をただす	… 14
追跡 わがまちSDGs	… 24
特別委員会報告	… 27

# 新庁舎完成 事業面では

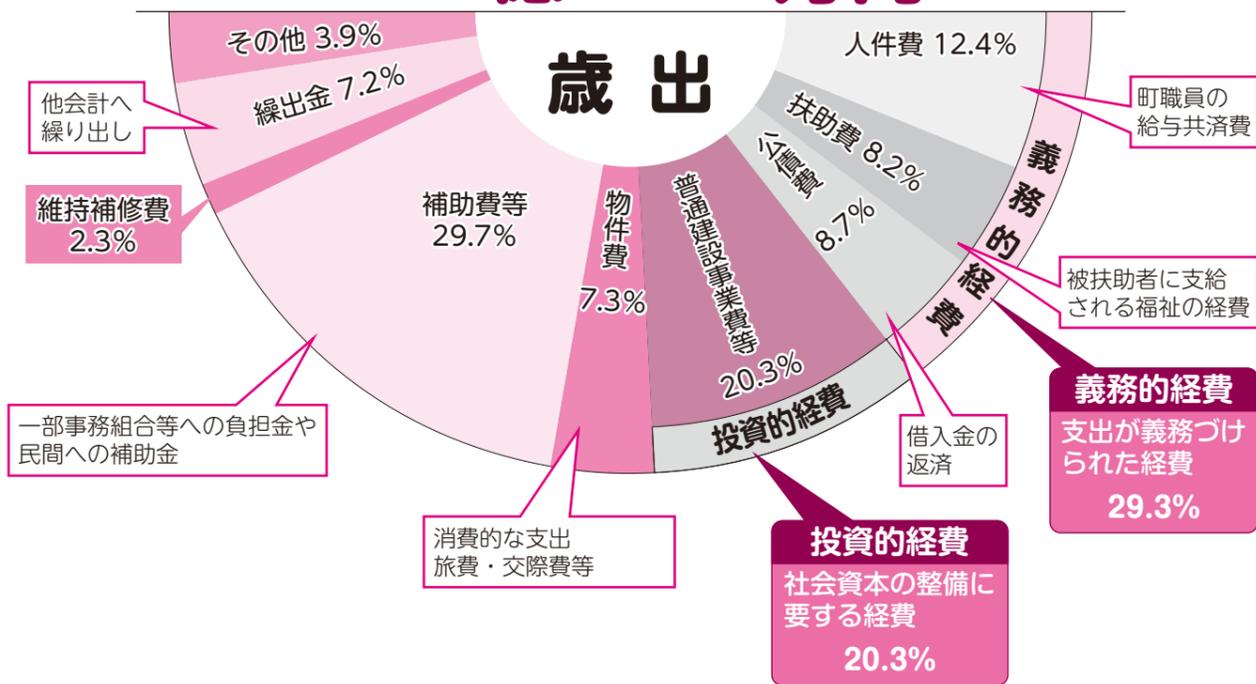
# コロナ対策で苦心

## 決算の内訳



## 一般会計

143億8516万円  
141億8380万円



## 令和2年度主な事業

- ①新庁舎整備 18億4883万円
- ②メディカルタウン整備事業 127万円
- ③特別定額給付金(1人10万円給付) 14億9409万円
- ④新型コロナウイルス感染症対策事業 4億8380万円

## コロナ対策交付金の主な事業

- ①感染防止・3密解消対策 5918万円
- ②生活支援 4358万円
- ③経済対策・事業者支援 1億6465万円
- ④教育・保育環境整備 2億1277万円

**一般会計は黒字**  
一般会計の歳入総額は143億8516万円、歳出総額は141億8380万円と、歳入歳出差しは2億135万8千円となり、翌年に繰り越すべき財源397万4千円を差し引いた、実質収支は1億644万4千円となった。また、令和2年度の実質単年度収支は7

**借入金残高は増加**  
財政健全化法に基づき、最大の財源である地方交付税は51億9605万円、置賜広域病院企業団分を差し引いた本町純粋分は38億9341万円、前年度比2億1755万円の増額となった。

**一層の財政健全化を**  
メディカルタウン事業が本格化し、コロナ禍の税収の落ち込みなどが予想される中、町債の償還もあることから、財政運営は今以上に厳しくなり、健全化は一層難しくなる。

## 財政指標は「健全」

# 適正な財政運営を指摘

## 9月定例会のあらまし

9月定例会が、9月1日から21日までの21日間の会期で開催された。  
第1日目に、人事案1件に同意、令和2年度一般会計等健全化判断比率等報告2件の後、過疎地域持続的発展計画の策定、条例2件、町道の認定、および令和3年度各会計補正予算6件を一括上程し、常任委員会、予算特別委員会に付託した。  
また、令和2年度各会計決算認定7件を一括上程し、

第3日目に決算特別委員会に付託した。  
第2、3日目に7人の議員が一般質問を行い、コロナ対策や防災対策等について町政をただした。  
第3日目を以降、常任委員会、予算特別委員会、決算特別委員会分科会を開催し、各議案を審議した。  
最終日に、付託した条例等、補正予算、決算認定を原案通り可決して閉会した。今定例会の傍聴者は23人だった。

# 決算 審議

# 産業振興・少子化・メデイカル整備など 行政改革と財政健全化を

決算特別委員会は常任委員会を単位とする2分科会で構成され、一般会計など7会計を審議した。

ここでは、監査意見、総括質疑、町長に対する質疑、各分科会での質疑を要約してお伝えする。



公立置賜総合病院周辺整備で快適な環境

## 令和2年度各会計決算の議決状況

会計別	歳入	歳出	議決の内容
一般会計	143億8515万円	141億8380万円	全員賛成で認定
国民健康保険事業特別会計	17億4385万円	17億2541万円	全員賛成で認定
下水道事業特別会計	5億4167万円	5億2723万円	全員賛成で認定
農業集落排水事業特別会計	9882万円	9826万円	全員賛成で認定
介護保険事業特別会計	19億3985万円	19億1403万円	全員賛成で認定
後期高齢者医療特別会計	1億8404万円	1億8046万円	全員賛成で認定

水道事業会計	収益的 <sup>※1</sup>	4億7966万円	4億3180万円	全員賛成で認定
	資本的 <sup>※2</sup>	4771万円	1億9519万円	

※1 収益的収支は水道水の収入と支出、資本的収支は水道施設に係る収入と支出  
 ※2 不足する1億4748万円は消費税調整額、損益勘定留保資金で補填した。

# 監査 意見

## 起債管理と事業選択で 財政収支の健全化を



代表監査委員  
島貫 憲明 氏

### 一般会計

本町財政は、依然として地方交付税への依存度が高く、交付の多少により財政指数が多少変動する。今後、公債費や社会保障費の増加が予想される。特に、大規模な公共施設整備により、公債費が大幅に増加するため、起債

管理に十分留意し財政健全化に努めるよう指摘した。

主な数値は、経常収支比率94・2%で1・7ポイント増加となり硬直化した。財政力指数は0・252で財政力は弱い。

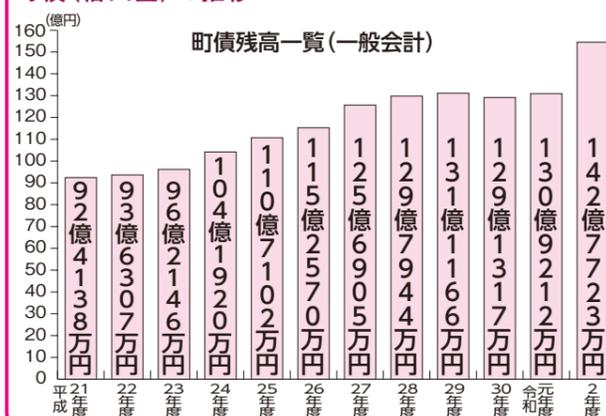
### 水道事業会計

水道管は老朽化が進み、他市町より管路経年比率が非常に高く、漏水防止対策及び老朽管の更新を計画的に進めるべきである。

経営環境改善のため、経費の節減、収納率向上、未収金対策を強化し、良質な水の提供に努めるべきである。

## ここが知りたい

### 町債(借入金)の推移



## 基金の残高

	財政調整基金	町債管理基金	庁舎建設基金
平成27年度	7億9562万円	2億6846万円	1億6000万円
平成28年度	6億3456万円	1億2226万円	3億1005万円
平成29年度	4億7642万円	2608万円	4億1007万円
平成30年度	3億5996万円	989万円	4億4459万円
令和元年度	2億2167万円	1369万円	3億9696万円
令和2年度	4億524万円	7748万円	1億1352万円

## 財政指標 令和2年度川西町一般会計等健全化判断比率

財政指標	実質赤字比率 一般会計の赤字額が標準財政規模に占める割合	連結実質赤字比率 全会計の実質赤字額が標準財政規模に占める割合	実質公債費比率 全会計の償還額が標準財政規模に占める割合	将来負担比率 将来一般会計から負担されると想定される金額等が標準財政規模に占める割合	公営企業会計に係る 資金不足比率 資金不足の額が事業規模に占める割合	
川西町	-	-	12.90%	145.50%	-	
国の指標	早期健全の基準	14.19%	19.19%	25.00%	350%	20.00%
	財政再建の基準	20.00%	30.00%	35.00%	-	-

※標準財政規模 標準的な税收、地方交付税、地方譲与税等自由に使える財源の標準的な規模を表す。令和2年度の本町標準財政規模は66億1360万1千円。

交付金事業の財源は

高橋輝行 議員

**高橋** 交付金事業などの財源の裏付けとなる内容説明をわかりやすく工夫してほしい。

**町長** 審査の際は、財源の内訳を十分説明できるようにする。

**高橋** 過去に国の補助事業を途中でやめたことがある。国費

**町長** 時代時代にあったものを事業化する

補助がなくなっても必要なものは継続してやるべきではないか。アパルト建設、空家対策等の補助事業の継続・中止は十分な説明をすべきだ。

財調基金の補正は

橋本欣一 議員

**橋本** 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大で、大きな影響が出た。特に、行事・イベントの中止で不用額が大きくなった。この額は令和3年度に繰り越されるが、最終的に財政調整基金（町の貯金）の取り崩し額が

補正で調整に使った基金に戻されたと考えていいのかが。

**町長** コロナ禍のため

に予定した事業展開ができなかったことは大変残念であった。支出額が減じたことにより、財調基金の取り崩しをすることができた。算を結ぶことができた。

事業執行の説明を

伊藤寿郎 議員

**伊藤** 令和2年度決算を結ぶにあたり、各事業の執行、イベントの中止や延期は町民にとっても痛手であった。町民への理解を得る説明が必要と考えるが。

**町長** 昨年発生したコロナウイルス感

染症は我々が経験したことのない状況だった。コロナ関連でも20億円を超えながらも安全確保や対策を講じてきた。ポストコロナ、ウイズコロナを見据え、住民生活の向上、経済再生を図り継続支援をしていく。



コロナ交付金活用によるリモート研修

9月定例会の議決状況

議会基本条例の規定により賛否の分かれたもののみ、各議員の議案に対する賛否状況を報告する。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
議員名	井上 晃一	遠藤 明子	渡部 秀一	寒河江 司	吉村 徹	島貫 偕	伊藤 進	神村 建二	橋本 欣一	淀 秀夫	高橋 輝行	欠 員	伊藤 寿郎	鈴木 幸廣
議案56号 教育委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○	

町提出案件20件、発議9件 請願2件。○は賛成、×は反対、-は欠席。議長は賛否に加わらない。他の議案はすべて全員賛成でした。

町長に聞く

決算審議の分科会で、特に政策的な事項を町長に聞いた



今後の公共交通網体系のカギを握る

総合交通対策は

**問** 町民の足の確保の現状は。

**町長** 町の交通体制は主にJR米坂線、フラワー長井線、山交バス、デマンドタクシーで構成している。鉄道や路線バスは、

鉄道は沿線学生の足

として欠かせない重要な路線であり、コロナ禍の中で過密を避けるため増車の要望をしている。山交バスは米沢までの路線として利用されてきたが年々利用客が減少し、1日上下6便利用者は1日10人を切っている状況である。路線維持のために年間300万円前後の補助をしている。バス路線の維持のため米沢市との協議を進めている。デマンドタクシーは定着し活用されているが、当日予約や他市町への乗り入れができないため課題となっている。今後、デマンドタクシー事業を基軸にしなが、より利用者の満足度のいく交通体系となるよう努力する。

農改センターと斎場の管理は

**問** 農村環境改善センターの大規模修繕が続いているが利用はどうか。

**町長** 農改センターは、昭和57年に整備された施設で、生活環境の改善、各種団体の研修会や交流施設として利用されてきた。現在は、シルバークセンターが貸館業務を行い、東置賜シルバークセンター川西支部の事務所としても利用されている。

各趣味や愛好団体活動、体育団体の研修の場、さらに最近では町民の健康診断や申告相談の会場、各種選挙の投票所としても活用され、行政運営の有用な施設として重要な役割を果たしている。令和2年度の利用者はコ

**問** 斎場運営の現状は。

**町長** 昭和63年7月に現在地に新設され、当初、業務委託であったが、平成19年からは川西葬祭社が



事業に見合った管理費の検討を = 町斎場

期日前投票所2カ所に



新庁舎の期日前投票所（予定）

**問** 期日前投票所の2カ所開設場所は。

**答** 新庁舎1階会議室と中央公民館に開設し、ネットワークシステムを構築し、利便性を図る。

**意** 住民へ期日前投票所増設の、周知を図ること。

**問** 職員のストレスチェックは。

**答** 高ストレス者に対して、産業医の面談や専門医への診察を勧奨している。職員の健康管理を徹底すること。

**問** 財政調整基金管理事業の状況は。

**答** 積み立ておよび残高をチェックし適正規模になるよう努めること。

**意** 努力する。適正な管理と積み立てを図ること。

**問** 地域おこし協力隊事業の状況は。

**答** 協力隊の退任後の活動を把握した、幅広い事業に取り組んでいる。

**問** 愛知大学交流事業の状況は。

**答** 受験を志す早い段階から、同校の存在と制度の浸透を図り、交通アクセス支援を検討する。

**問** 町出身の奨学生を実現すること。

**答** 災害救助費の内容は。

**意** 被災者に対して義援金等を支援している。被害状況に応じた支援を検討すること。

**問** 防火水槽設備事業の状況は。

**答** 防火水槽の新設や嵩上げ工事を行っている。

**問** 小学校空調設備事業は。

**答** 空調設備工事は全小学校で完了した。

**意** 今後も計画的な学校施設整備に取り組み、適正な工期に努めること。

コロナ禍で集ごもり需要

ふるさと納税過去最高額

**問** ふるさと納税の状況は。

**答** コロナ禍での集ごもり需要があり、寄付額が1億7千万円を超え、過去最大となった。

**意** 本町の特産品を発信し、参画者の拡大に努めること。

**問** コロナ禍であっても、高額治療を要した件数が多かったのか。

**答** がん、心臓疾患等の疾病が多くなり、高額治療の件数が増えた。

**意** 早期発見、治療と重症化予防を推進し医療費削減をすること。

**問** 生活困窮者の「食」の支援は。

**答** 高齢者、障がい者、生活困窮者の食の支援について、相談案件が年々増加している。

**意** 専門職員を増員し包括的な相談、支援を行うこと。

**問** 野焼きや不法投棄防止策は。

**答** 巡回を警察、消防の関係機関と強化する。

**意** 今後も環境保全に取り組むこと。

**問** 健康検査、各種検診状況は。

**答** 各種検診事業で受診率向上に取り組む。各種受診率のなお一層の向上に努めること。

**問** 農業委員報酬の実態は。

**答** 農地面積に比例して業務量が膨大になり、不公平感がある。

**意** 業務量に見合った報酬へ改定すること。

**問** 農業担い手育成確保支援状況は。

**答** 認定農業者や集落営農組織への経営指導や新規就農者の掘り起こしをしている。

**意** 経営指導を的確に実施し、担い手の確保につなげることを。



返礼品 根強い人気「肉・米・酒」の三拍子

# 正算 補予

## 保育料県費負担で子育て世代を支援

一般会計補正予算(第3号)は1億996万円を増額。主な補正は、保育料負担軽減助成事業、元気な地域農業担い手育成事業等に取り組み。

一般会計補正予算(第4号)は9645万円を増額。新型コロナ緊急経済対策事業、防災対策拡充事業で弾力的な支援に取り組み。

### 保育料負担軽減助成事業

本助成事業は、0歳から2歳児までの保育料の2分の1を県が負担。残りの2分の1の金額については、各市町村が実情に応じて負担する交付金制度である。

議会で、県費負担残額分の対応について

### 元気な地域農業担い手育成事業

は、町が全額負担を行い、子育て世代を支援すべきであると、全員一致による要望を行った。

地域農業を支える多様な担い手の育成や取り組みをハード、ソフトの両面から支援する

### プレミアム付き商品券発行事業(追加)

町内事業者の売上向上や消費者への支援を図る目的で、12月中旬からプレミアム商品券を発行する。販売セット数8000セット(500円×13枚)プ

### 経営支援交付金(上乗せ支援)

現在実施中の経営支援に加えて、売り上げが大きく減少している事業者に対して上乗せ支援を行うもの。法人、個人事業者で、今年と前年もしくは前々年の同月対比(3カ月比較)50%以上売上が減少している事業者で、個人20万円、法人40万円の交付額。

### 防災対策拡充事業

コロナ禍における非常事態に備え、指定避難所の三密回避を目的に家用車内に避難する分散避難で情報伝達するための受信機、防災行政無線アプリ整備、避難所の備品、消耗品等を整備する。



支援充実ですくすく育て

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計(第4号)	116億848万円 (9645万円を追加補正)	全員賛成により可決
国民健康保険事業特別会計(第1号)	17億9129万円 (3219万円を追加補正)	全員賛成により可決
下水道事業特別会計(第2号)	5億2461万円 (795万円を追加補正)	全員賛成により可決
農業集落排水事業特別会計(第1号)	9663万円 (51万円を追加補正)	全員賛成により可決
介護保険事業特別会計(第2号)	20億1877万円 (2638万円を追加補正)	全員賛成により可決
後期高齢者医療特別会計(第1号)	1億8434万円 (398万円を追加補正)	全員賛成により可決

### 一般会計補正予算(第3号・第4号)の主な内容

(歳出)	
保育料負担軽減助成 補助金(第3号)	569万円
元気な地域農業担い手育成支援 農業機械整備(第3号)	1185万円
旧役場本庁舎等アスベスト調査 委託料(第3号)	919万円
新型コロナウイルス感染症緊急経済対策 補助金等 経営支援交付金、プレミアム商品券等(第4号)	3543万円
防災対策拡充 委託料等 防災行政無線アプリ整備、戸別受信機整備等(第4号)	2066万円
(歳入)	
普通交付税(第3号)	1億8705万円
前年度繰越金(第3号)	2164万円
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(第4号)	2046万円

指定避難所用換気機器50台等  
その他、役場庁舎、放課後児童クラブ等に空気清浄機を31台設置する。

### 主な質疑

- 問** 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業の内容は、  
**答** 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業の内容は、  
 ①経営支援交付金(上乗せ支援分)、法人、個人事業者今年と前年もしくは前々年の同月対比で50%以上売上減少している事業者。  
 ②飲食店テイクアウト支援事業(新規)。  
 ③プレミアム付き商品券発行事業(追加)12月中旬(プレミアム率30%、8000セット(500円×13枚)セット)。
- 問** 旧役場本庁舎等アスベスト調査の解体設計費と解体工事費を詳細に積算するため、先行して実施するものである。  
**答** 旧役場本庁舎および中央公民館の解体設計費と解体工事費を詳細に積算するため、先行して実施するものである。
- 問** 町内飲食店のテイクアウト(持ち帰り)販売を促進し、事業者の経営支援を図るもの。  
**答** 町内飲食店のテイクアウト(持ち帰り)販売を促進し、事業者の経営支援を図るもの。
- 問** プレミアム付き商品券発行事業(追加)の町内事業者の売上向上や消費者への支援を図る目的で、12月中旬からプレミアム商品券を発行する。販売セット数8000セット(500円×13枚)プ  
**答** 町内事業者の売上向上や消費者への支援を図る目的で、12月中旬からプレミアム商品券を発行する。販売セット数8000セット(500円×13枚)プ
- 問** 指定避難所用換気機器50台等  
**答** 指定避難所用換気機器50台等  
 その他、役場庁舎、放課後児童クラブ等に空気清浄機を31台設置する。
- 問** 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業の内容は、  
**答** 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業の内容は、  
 ①経営支援交付金(上乗せ支援分)、法人、個人事業者今年と前年もしくは前々年の同月対比で50%以上売上減少している事業者。  
 ②飲食店テイクアウト支援事業(新規)。  
 ③プレミアム付き商品券発行事業(追加)12月中旬(プレミアム率30%、8000セット(500円×13枚)セット)。
- 問** 地区交流センター管理運営の報酬金は、  
**答** 地区交流センター管理運営の報酬金は、
- 問** 健康子育て課長  
**答** 健康子育て課長
- 問** まちづくり課長  
**答** まちづくり課長
- 問** 産業振興課長  
**答** 産業振興課長

# 人事

## 金子氏再任

### 教育委員会委員の 任命に同意

金子正美教育委員が  
9月30日で任期満了の  
ため提案され、同意し  
た。

#### ●金子 正美

(再任) 小松

平成29年10月川西町教  
育委員就任

### 賛成多数により同意

(反対1人)



# 負約 請契

## 虚空蔵山西線道路改良 工事(2工区)

請負金額  
5940万円  
受注者  
株式会社 黒澤技建  
工期  
令和4年3月25日まで

この工事により、路  
盤工事が完了し、令和  
5年度には米沢市と協  
調して供用される予定  
である。

### 全員賛成により可決



# 川西町過疎地域 持続的発展計画

## 過疎克服へ新方針

### 過疎法とは

人口減少や少子高齢  
化が進行する中で、国  
は特に顕著な地域を  
「過疎地域」に指定し、  
さまざまな支援や配慮  
を行うことで担い手不  
足や地域コミュニティ  
機能の維持、向上を図  
ろうとするものである。

### 今回の改正点

過疎地域自立促進特  
別措置法に替わり、過  
疎地域の人口減少と少  
子高齢化の社会経済情  
勢で、交通機能の確保、  
医療供給体制、教育環  
境の整備や集落維持、  
活性化と農地森林の適  
正管理など、持続的発  
展を支援するもの。名  
称も新たに「過疎地域  
の持続的発展を支援す

### 主な計画

- ①移住、定住、地域間交流の促進と人材育成
- ②地域における情報化推進
- ③再生可能エネルギーの利用促進
- ④交通機能の確保

### 全員賛成により可決

る特別措置法」と変更  
され、期間は令和3年  
度～12年度までの10年  
間とされた。  
主な計画は左のお  
り。

# 条例

## 過疎地域固定資産税課 税免除条例の設定

製造業、情報サービ  
ス業等、農林水産物等  
販売業または旅館業を  
営む法人や個人が、当  
該事業の用に供する設  
備(土地、建物、償却  
資産)を取得した場合  
の当該設備に係る固定  
資産税を3年間課税免  
除するもの。

### 全員賛成により可決

## 川西町手数料条例の一 部改正

個人番号カードの再  
交付手数料について、  
法の一部改正により、  
地方公共団体情報シス  
テム機構が申請者から  
徴収することになった  
ため。

### 全員賛成により可決

# 請願

## (3号)小松幼稚園周 辺道路整備

### 請願者

小松幼稚園保護者会  
会長 今野 貴之  
学校法人天笠学園  
理事長 天笠 善照  
紹介議員  
井上 晃一  
産業厚生常任委員会

## (5号)米の需給調整 に関する請願

### 請願者

山形おきたま農業協同  
組合 代表理事組合長  
若林 英毅  
山形おきたま農協農政  
対策本部 本部長  
後藤 昌弘  
紹介議員  
伊藤 進  
産業厚生常任委員会

### 全員賛成により可決

迎で道路幅も狭く、車  
同士のすれ違いも困難  
であり、自転車や歩行  
者の往来に危険な状況  
から、道路改修など対  
策と改善を請願する。  
審査結果 採 択

# 意見書

## コロナ禍による厳しい 財政状況に関する意見 書(抜粋)

コロナ禍による地方  
財政は、巨額の財源不  
足が避けられない状況  
に直面しており、地域の  
実情に応じた行政サー  
ビスを、持続的に提供

### 全員賛成により可決

豪雪地帯対策措置法の  
改正に関する意見書  
(抜粋)  
積雪寒冷特別地域に  
おける道路交通の確保  
や、少子高齢化の進展  
や空き家の増加等によ  
る克雪力の低下があり、  
降雪の影響による要援  
護者世帯の除排雪の遅  
れや、空き家の倒壊が  
生じ、さらに高齢者の  
死傷者が発生するなど  
課題が多く、豪雪地帯  
における迅速な支援策  
が必要で、特例措置を  
10年間延長することを  
要望する。

### 全員賛成により可決

提出先  
内閣総理大臣 他

防災

防災マネジメントの実効性を問う

町長 ー 自主防との連携を強め実効性を上げていく

**神村** 近年地球温暖化に伴う気象状況の変化により突発的に発生する災害が多発し、しかも激甚化している。本町ではこうした災害に対応するため「川西地域防災計画」が作成され、住民の生命・身体および財産を災害から保護する仕組みがきめ細かに作られている。

そうした中において、国で定めた「避難行動要支援者名簿」の作成「避難行動要支援者の個別計画」の整備、および「自主防災組織との関わり方」について現状とその課題について問う。

**町長** 平成21年に初回登録者名簿を整備して以降、毎年名簿を更新して現在107人の避難行動要支援者が登録されている。ただし、最近では支援者側の高齢化が進むなどの課題が発生している。個人計画をさらに精査し、要支援者が確実に避難できる仕組みをつくりたい。

また、自主防災組織は町内全地区に設置された。実効性ある個別計画の整備や情報の共有、避難所運営の明確化、備蓄品の支給の在り方などを自主防災組織と協議・確認し連携強化に努めていきたい。

**神村** 国では小学校でも義務教育学校という新たな学校種を定め、2016年から小中一貫教育が法制化された。少子高齢化に伴う児童生徒の減少化、学校施設の老朽化、子どもの実態に合わせたカリキュラムの弾力化など、課題に対する成果も期待されている。本町の小中一貫教育についてどう考えるか見解を問う。

**町長** 国における小中一貫教育の導入の背景として、学習指

導や生徒指導において義務教育9年間の全体像を把握し、連続性のある教育活動の取り組みにより、さまざまな目標を達成できるといふ機運が高まってきたことによる。

県内の実施状況については新庄市や戸沢村で実施されている。本

町で実施するためには地元や保護者との合意形成をはじめ、学区再編などの経過や小学校6校・中学校1校の形態を考慮すると、これまでと同様に各校で差異が生じないよう均一した教育環境を提供し、中学校に進学させることが望ましいと考える。



神村建二 議員



自主防災組織(吉島)のドローン活用

町政をただす



7人の議員がするどく一般質問

定例会第2日目と3日目に一般質問が行われ、7人の議員が町政について質問しました。(発言順)に掲載します。

<p><b>神村 建二 議員</b> (15ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 防災マネジメントの実効性は</li> <li>② 小中一貫教育についての見解は</li> </ul>	<p><b>島 貫 借 議員</b> (19ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 安全安心(上水道の老朽管改修計画)</li> <li>② 東北中央自動車道のスマートインターチェンジ設置の動きは</li> </ul>
<p><b>寒河江 司 議員</b> (16ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 観光行政</li> <li>② コロナ感染症対策は</li> </ul>	<p><b>井 上 晃 一 議員</b> (20ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 都市計画の進展は</li> </ul>
<p><b>橋 本 欣 一 議員</b> (17ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① DX推進は</li> <li>② 児童生徒などの安全通学の確保と支援は</li> </ul>	<p><b>高 橋 輝 行 議員</b> (21ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 起債償還は</li> <li>② 玉庭地域内における太陽光発電事業に関する協定書は</li> </ul>
<p><b>吉 村 徹 議員</b> (18ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 今年度産米の価格をめぐる状況は</li> <li>② コロナ禍の中で増加する自殺の対策は</li> </ul>	

一般質問は、議会ホームページの録画中継によって見るすることができます。(http://www.town.kawanishi.yamagata.jp)

まちの未来が見える(9月定例会の傍聴者は23人)  
**議会傍聴においでください**  
 次回定例会は12月です

どなたでも傍聴できます(事前連絡は不要です。役場3階にお越し下さい)

定例会本会議、予算特別委員会はNCV、インターネットで生中継。議会フェイスブックもご覧ください。



川西町議会FB QRコード



川西町議会HP QRコード

## 一般質問

### 観光

#### 魅力ある観光地づくりを問う

#### 町長「ふれあいの丘」を拠点に



寒河江司 議員

**寒河江** 第5次川西町総合計画・後期基本計画の「魅力ある観光地づくり」において、ふれあいの丘の機能充実を図るとあるが、観光人口を増加する具体策はあるか。

**町長** 置賜公園、川西センターまどか、および内山沢周辺を「ふれあいの丘」と位置づけ、川西パークゴルフ場を整備し、地域間交流の

拠点とし、交流人口の拡大に努めてきた。

**寒河江** 「ふれあいの丘」の機能充実だけで、観光人口増加につなげられるのか。

**町長** 内山沢一帯は、遊歩道を整備し、トレッキングや、マウンテンバイクコースとして、冬季にはスノーシューハイクとして活用されて利用者が増加しているが、エリア全体の統一感に乏しく、

機能強化や改修が必要な施設も残されていることが課題だ。

**寒河江** 町内の各施設、名所、飲食店の回遊につなげる仕組みづくりを構築するところが、具体的にどうするののか。

**町長** 各施設の機能を連携し、認知度向上に努め、スマートフォン向けの周辺観光マップなど、町内の名所、飲食店への回遊を

促す仕組みの導入を検討している。

**寒河江** 川西ダリヤ園、置賜公園ハーブガーデン管理に係る、町と川西観光協会の役割が曖昧になっていないか。

**町長** ともに町の直営施設として管理業務を行い、観光協会や園内売店運営を受託している。

**寒河江** 観光行政を観光協会に一本化してはどうか。

**町長** 今後の協会の在り方に対して独自に委員会を開催、検討した結果、法人化に向けて検討を開始していると伺っており、協会の方針を受けて協議していく。

**寒河江** コロナ感染症対策で、12歳から18歳までのワクチン接種状況と対応はどうか。

**町長** 12歳から18歳までの接種状況は、個別接種で対応しており、対象者828人に

対して1回目接種済み282人、2回目接種済み128人で543人が未接種である。12歳以上の町民に、接種券を送付済みで個別接種。職域接種が可能で集団接種は年代ごと順次実施予定している。

**寒河江** 小、中学校、幼稚園、保育園でのクラスター発生時の対応策はあるのか。

**町長** クラスターが発生した場合は、保健所や関係機関と連携協力して町対策本部において速やかに、適切に対応していく。



ダリヤ園にきてけろくん

## 庁内のDX化はどう進めるか

### 町長 自治体DXアクションプランを作成中である

### DX

**橋本** DX推進を打ち出したが、具体的にどう進めるか。

**町長** デジタル技術により人手のかかったサービスの自動化、ミスなく作業を効率化するのデジタル化。DXは町づくりの一つの手法・ツールとして、住民福祉の向上、諸課題の解決のため各種施策とともに推進していく必要があると認識している。そのため「川西町自治体DXアクションプラン」を策定中である。

具体的には、職員1人に1台のパソコンを配備、クラウドシステムを利用した共同アウ

トソーシング導入、また、税業務にRPAを導入し自動化に取り組んでいる。

今後、押印廃止などの動きが加速しており、デジタル化を積極的に調査・検討していく。

**橋本** 議会では、活性化調査特別委員会で庁舎内のペーパーレス化、タブレット化を調査中であるが導入の考えはないか。

**町長** ペーパーレス化を含め、情報システムの導入を数年前から検討中であるが、法的な制限や費用対効果の面で導入には至っていない。

児童生徒の安全通学の確保は

**橋本** 6月に千葉県で小学生の登校の列にトラックが突っ込み死傷者が出た事故以来、全国で通学路の一点検が実施された。町内の状況はどうか。

**町長** 通学路の安全確保は毎年4月に関係者と合同点検している。その際には、5つの小学校で、合計21カ所が指摘され、現在まで19カ所を改善している。国の要請で8月に実施し、外側線やドットラインの消えかかりや、路面表示の塗り直しなどが発見され、

順次改善している。

**橋本** 児童数の減少で低学年だけの登校がみられる。また、サルなどの出没により危険な通学路もある。安全確保のためスクーパスの利用を進められないか。

**町長** 通学班を構成する場合は高学年がいる。場合によっては保護者の協力を得ている。スクーパスの活用については弾力的に運行したい。

児童生徒の安全通学の確保は

**橋本** 児童数の減少で低学年だけの登校がみられる。また、サルなどの出没により危険な通学路もある。安全確保のためスクーパスの利用を進められないか。



橋本欣一 議員



タブレットで使用でデスクもすっきり＝旧米沢市議会議場

## 一般質問

### 米価

町長 ー 動向を注視し国等に要望する

コロナ禍による米価下落その対策は



吉村 徹 議員

### 青

今年の作況指数が山形県では、102のやや良と報じられ、豊稔の秋を喜びたいところであるが、コロナ禍の中消費の落ち込みなどによって需要悪化となり、米価の下落が予想され、農家は手放しで喜べない状況にあるのではないかと、民間在庫量の増加、需給緩和傾向の拡大が見込まれ、本年度産米の需給見通

しは、厳しさが増すのではと危惧している。米価の下落は、農家の経営はもとより本町経済への影響が大きいことから、動向を注視し、関係機関と連携して国等へ価格安定のための要望を実施していく。

### 青

米作りに係る経費は、農水省による直近19年調査では、平均、1俵生産するのに、1万5155円と

### 青

物財費を賄えない米価となることは、農業経営の圧迫はもとより、次期作に大きな影響を与えることになるため、農業経営の維持発展に向けた対策の検討を行う。

### 青

米価の下落が想定される中で、収入減に対する支援の強化を図るべきではないか。

### 青

米価が下落した際には、収入減少影響緩和交付金、いわゆるナラシ対策や、共済組合の収入保険といったセーフティーネット対策が講じられている。対策の発動が見込まれる際には、その間の支援策の必要性を

検討していく。

### 吉

今後の米価の状況を踏まえながら、国、関係機関などへの米価下落に対する要望を行っていくべきではないか。

### 青

平成26年当時の要望活動や町独自の支援策の実施等の実績をもとに効果的な対応策を検討していく。本町では、国の地方創生臨時交付金等を活



今年は、収穫を素直に喜べない秋

## 水道

### 上水道の老朽管改修計画は

町長 ー 健全度・重要度を考慮し実施していく

### 島

上水道老朽管の改修計画はどのようになっているか。また、石綿管を通過する飲料水の水質調査は、水道の老朽管の数量については、令和2年度末現在の総延長は20・5kmとなっている。内訳は小松地区3・1km、大塚地区1・1km、犬川地区1・5km、中郡地区7・6km、玉庭地区1・7km、東沢地区3・5km、吉島地区2・0kmである。改修計画については、更新管路について経年および劣化状況や埋設環境等の「健全度」医療施設等の「重要度」の両面を考慮し、優先

### 島

管路を決定、更新を実施していく。水道の水質調査については、世界保健機関(WHO)では健康影響のガイドライン値を定める必要はないとしている。

高速道路のインターチェンジ設置

### 島

東北中央自動車道のスマートインターチェンジ(下り線)設置の動きはどうなったのか。下り線ICは町の将来発展のためにぜひとも必要だと思ふのだが。

### 島

高島町が事業主体として、国・県・ネクスコ東日本と

### 島

幾度も勉強会を重ねられ、候補地の選定や費用負担等について鋭意検討準備を進めてこられた。

いろいろな検討結果、上り線の乗り入れが可能なハーフ式の構造とする実施計画書が承認され「新規事業化」の採択を受けられた。

浴浴センターまどか、危険なドーム対策は

### 島

まどかの保養棟屋上にある鉄骨のドームについて、以前から鉄骨やボルトに腐食が見られ危険が指摘されていたが万が一入浴中に崩れ落ちたら大変なことになる。こ

### 島

指摘のあった「鉄骨ドーム」、保養棟のドリヤドームについては、川西町公共施設個別施設計画において、劣化が見られるとの状況を確認しており、現在、その具体

### 島

的な対策を進めている。町としても年度内の見直しに向け、該当施設の現状確認等を実施しながら見直し作業を進めている。その結果を踏まえ、計画的かつ適正な対応を図る。



安心できる水の供給を

## 一般質問

### 都市計画

#### 都市計画の進展は

#### 町長1計画から10年経過再検討する



井上晃一 議員



中心市街地再生の都市計画を

**井上** 中心市街地は「羽前小松駅を中心に商業・サービス機能と居住機能が共存する、歩いて暮らせる生活空間の形成を図る。商業地は賑わいのあるコンパクトな商業地の形成を図る」としているが。

**井上** たな視点で検討したい。駅の東西を短期に開発するとしているが、特に西側で成果が見られない。観光面でも町の顔として重要だ。

**井上** 整備済みとなっている駅前から置賜農高までの歩道や融雪管理は。

**井上** 密度は用途地域の北部が高く南部は低いとしている。

**町長** 約3千万円の税収は2億7千万円の下水道経費の一部に充当している。都市公園管理費にも当てているが今後の検討課題とする。

**井上** 車を病院前の北の道路に流れてくる。川西方面からの救急車の流れに支障が出るのではないか。

**町長** 以前より空き店舗・空き家が目立つなど後退している。中心部に集積するエネルギーが足りない。新

**町長** 今年度予算に、駅前前の空き地調査などの費用を上げている。ビジョンをつくり、早急に着手する。

**町長** 県の管理になるが歩道の段差など破損については認識している。県に継続して強く要望していく。

**井上** 都市計画税が徴収圏外も含む下水道会計に使われている。都市計画施設整備に使ってはどうか。

**町長** 病院職員から要望が出されている。買い物など利便性を高める。

**町長** 救急車は優先車両なので支障が出るとは思っていないが検証する。

## 発電事業者との協定は町がすべきでは

### 町長 一 立会人の立場をとった

#### 協定書

**高橋** 玉庭で工事中の「ソーラーパーク太陽光発電所」の企業と玉庭地区交流センター四方山館が、事業の実施等に関し協定書を締結し、町が立会人になっているが町が契約者にはなれないのか。

**町長** 法令に基づき国・県の指導等に沿って進められている事業であり、国が推進している再生可能エネルギーの導入推進に資する事業である。本件の土地利用は、過去に開発行為が実施されている土地を地形の変更を行うことなく有効に活用するものである。町としては有効活用の

**町長** 発生に関しては報告義務等は無いが、町としては、地元と連携を図り開発事業者に対し情報提供を求めてきた。このたびの集団感染に関しては、これまで経験のない、特異な事態のため工事現場が混乱し、報告が後手に回ったことは否めない状況であった。安全が確認されるまで工事再開について慎重に対応するように申し入れた。

**町長** 29億2529万円円となっている。まだ確定していないが事業が完了した後、改めて報告する。現時点では、旧庁舎の解体費用を含め36億1300万円円としている。

**町長** 指摘のとおり建設に係る元利償還は、令和8年度に大きく伸びて、令和9年度がピークになる。その後は、若干であるが減少する。その影響は極端な増減にならないと見込んでおり、財源の基金積立を行い負担の平準化を図りながら進める。

**高橋** 今回のような新型コロナウイルス感染症のクラスター発生の場合、町に対する報告義務や改善策の対応はどうなっているのか。

**高橋** 新庁舎建設に係る費用の精算はいつ示すか。

**高橋** 新庁舎建設に係る起債償還の影響は

**高橋** 新庁舎建設に係る起債償還が始まる令和7、8年度における一般会計への影響は。



高橋輝行 議員



再生可能エネルギー施設 = 玉庭メガソーラー

空き家対策状況は

(総務文教常任委員会)

川西町空家等対策協議会で特定空家等に認定されたところ2カ所の現地調査を行った。

吉田地区内

トタンがはがれ近隣に飛散するとともに、日を増すごとに倒壊の危険性が高まっている。道路に面していること

高豆蔻地区内

作業場のトタン屋根一部がはがれ、道路に垂れ下がっていたため、消防署員により一部撤去等応急措置を行った



通行の支障をきたす危険空き家

が、道路に面しているため、今後も屋根の飛散等通行に危険を及ぼしかねない状況である。2カ所とも所有者が死亡しており、相続等に関係する方へ関係書類を送付しているとのこと。

雪が降らないうち対策するよう担当課に申し入れた。

幼稚園周辺の調査

(産業厚生常任委員会)

小松幼稚園から提出されていた請願について、現状を見ておく必要があるのではないかとのことから、7月30日に現地調査を行った。現地は中小松地区内、幼稚園前の道路が狭く、朝夕の送迎などで特に信号待ち等で渋滞が生じることである。幼稚園としては現在のところ自主規制とし



狭い道路の状況確認

て、通園時は一方通行とし、送迎する保護者にお願しているとのことである。幼稚園付近の交通安全のため、周辺道路の整備について早急な対策を要望されているものである。

意見交換の中で、都市計画にある道路整備が行われれば、周辺の安全な通行と渋滞解消等につながるのではないかと意見があり、それに向け町行政に対して要望をしていくこととした。

全員協議会

経済対策を重視

新型コロナウイルス感染症対策(第5弾)

全員協議会  
8月23日

1、「川西町過疎地域持続的発展計画」の説明があった。(P12参照)

過疎地域自立促進法が令和3年3月31日で期限を迎え、新法に引き継がれ、引き続き本町は過疎地域に指定された。かわにし未来ビジョン(川西町総合計画)との整合性を図り持続的な発展を推進していくものである。

2、川西町再生可能エネルギー導入目標策定事業の説明があり、川西町ゼロカーボンシティー実現のための、エネルギー消費量などを調査し再生エネルギー導入の目標を定めるも

のである。実施期間は令和3年度から4年度にかけ、予算は1000万円、今年度は489万円である。

全員協議会  
9月3日

町長に対する本年度の政策提言の進め方について説明があった。コロナ禍のため、政策提言のための、町民との意見交換会が中止となったため、進行をどうするか協議が行われた。

昨年に引き続き、9月定例会中に各常任委員会と協議し、提言することとした。

全員協議会  
9月16日

1、新型コロナウイルス



新過疎法で移住・定住を = 空き家リフォーム

ス感染症対策事業(第5弾)の説明があった。内容は、川西町経営支援交付金上乗せ分で売り上げが大きく減少している事業所に、個人20万円、法人40万円の上乗せ支給を行うこと。町内飲食店のテイクアウト事業に購入費助成を行うこと。また12月中旬から30パーセントのプレミアム付商品券を発行することなどを中心に、さらに各種施設の感染予防・新生活様式の確立対策の

説明があった。2、川西町斎場を有限会社川西葬祭社に、かわにし森のマルシェを株式会社森のマルシェにそれぞれ指定管理する説明があった。3、旧庁舎跡地地活用特別委員会の調査研究が終了したことによる最終報告書のための説明があった。(P27参照)

その他、行政評価、意見書の提出などの説明と協議があった。

表紙の写真



おいしいよ！川西米 秋晴れの9月22日、小松小学校5年生全員が稲刈り体験を行った。当日は置賜農業高校実習田で、置賜生の手ほどきを受けながら、手刈りやコンバインによる刈り取り作業を体験した。

置賜農高は、令和2年度に第11回全国農業高校お米選手権において、最高金賞を受賞した実績を持っている。児童達は初めての稲刈り体験だった。自ら刈り取った稲を満面の笑みで持ち上げ、美味しい米ができたことを実感していた。将来の米作りを担ってほしい気持ちがある。



コロナ禍でなければ… = 令和元年小松地区意見交換会

# 政策提言

川西町議会は9年目となる政策提言を、各常任委員会毎に問題を整理し、提言書の手交を行う。議会は、行政に対して直接執行権がないことから、提言の実現状況を1年後に検証し評価する、全国でも数少ない取り組みである。(コロナ禍で2年連続、意見交換ができない状況でした)

## 政策提言検証の流れ



# わがまち SDGs 第2回



感染拡大防止につながるワクチン接種

# コロナ対策の継続を

拡大が止まらない新型コロナウイルス感染症。5月よりワクチン接種が開始され、10月7日現在の接種者は1回目1万1877人、

2回目1万1182人。現在変異株と言われているものが確認されていることから、個人でできる感染防止対策は継続されるようお願いしたい

とのこと。  
令和2年度主な事業  
コロナ感染症対応地方創生臨時交付金で、感染防止物品整備1574万円。子育て世帯への給付金交付4297万円。売り上げ減少事業者持続化交付金3673万円  
令和3年度主な計画  
経営支援交付金、飲食店テイクアウト支援事業、プレミアム付き商品券発行事業、防災対策拡充事業他17事業が計画されている。  
議会で、新型コロナウイルス感染症拡大で、個人や事業者等へSNS等での誹謗中傷

## 誹謗中傷根絶の宣言

全国各地で感染者やその家族、学校や勤務先等に対しSNS等の媒体に匿名で心ない誹謗中傷や間違った情報の拡散、感染症に対する不安や恐れから感染者や感染経路を詮索する事例などが発生しています。

気づかぬうちに誰もが感染する可能性がある新型コロナウイルス感染症。私たちが行うべきは感染防止策の徹底で感染者を誹謗中傷することではありません。一人ひとりが共に支え合うことが何よりも大切な事です。

川西町議会は、誹謗中傷の根絶を目指すとともに、コロナ禍の諸課題に真摯に取り組んでまいります。町民の皆さまにおかれましても、共に支え合いながら、この困難を乗り越えていきましょう。

令和3年3月19日 決議

川西町議会

間違った情報の拡散、感染経路の詮索する事例などが発生していることから誹謗中傷をなくすための決議をした。

誹謗中傷をなくし共に支え合うことにより新型コロナウイルス感染症の克服を目指す決議  
(抜粋)



コロナ禍の中で議会広報モニターを引き受けることになったので、議会だよりやNCVの議会中継を今までより関心を持ってじっくり見るようになりました。やはり、問題なのは、もう二年目になるコロナ感染症対策です。ワ

## 広報モニターから ひとこと②

下奥田 福島恵美子 さん



クチン接種が進み重症化は避けられそうです。が、より感染力の強い変異株への置き換わりが進行し収束の見通しが持てません。昨年はいろいろな行事が中止となりましたが、今年度は対策を講じて実施されているものも多いようです。例えば、成人式では参加を控えていただいた県外在住の新成人の方々にメッセージと記念品を送られたとか。まだまだ収束が見通せない中、どう対応するか考えて実施していきたいと考えては思いました。また、米価下落の対策を求める請願をしたことやダリア関係事業の厳しい状況が紹介されてきました。実際に数字で示されると大変さがよく分かります。コロナ禍の中、今後どう対応するか考えながら、議会だよりを関心を持って見ていきたいと思えます。

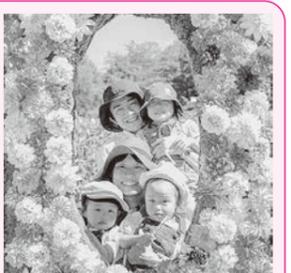
# いいね！かわにし 街かどインタビュー



**米沢学生カフェのみなさん**  
嶋さん、森さん、吉沢さん  
(米沢大学 米沢孝宏さん) ルナ  
置賜地域の農産物を利用したお菓子作りで活動しています。  
地域の良さを再確認してもらい、多くの方に「食」で喜んでもらっています。



**Mさん手作り小物雑貨販売のみなさん**  
青木裕子さん、  
板垣真由美さん(南陽市)  
フレンドリープラザの青待ち市でデビューしました。地元では出店がありません。山形や天童まで出かけます。コロナが終息し自由にイベントが楽しめるといいですね。



**石田秀偉さん一家(時田)**  
天気が良く暖かくなったので、久しぶりに家族で出かけて来ました。今日は特にぎやかでいいですね。町内で、子どもといっしょに楽しめるイベントがもっとあればいいですね。



**鈴木さん一家(長井市)**  
一昨年、熊本出身の嫁の名前を新品種に付け、応募しました。感謝を込めました。  
今年は何んな品種名にするかワクワク、ドキドキしながら考えています。とても楽しみにしています。



**平船さん夫妻(仙台市)**  
天童の面白山のコスモスを見て、川西に来ました。ダリアの花が見事にあざやかでびっくりしています。ここ2、3年来園しています。妻や愛猫とも久しぶりの一緒の外出です。来園者が多く、肩に乗せての見学でした。



**富安 彩さん(中郡地区)**  
きれいに咲き誇ったダリアが素晴らしいです。今日で、3人の子とも2回目の来園です。お出かけはみんな楽しみですが、上の子とも2人は目的は別でやはり「花より団子」ですね。露店がいっぱい出て楽しみです。



**平間 由美子さん(中郡地区)**  
娘と孫と5人できました。天気も良くダリアの花がキラキラしてきれいですね。たくさんの方が入場されて、賑わっているですね、管理されている方に感謝です。



**大竹 浩之さん(小松地区)**  
鳥の唐揚げを200パック用意して完売しました。たくさんの方が来園され賑わって嬉しく思います。これからダリアの花が見頃になりますから、たくさんの方に来て貰いたいです。

開園61周年を迎え、9月21日が川西ダリヤ園開園記念日に登録されました。  
(日本記念日協会)  
多くの人でにぎわうダリヤ園でインタビューしました。  
(コロナ感染症対策をしての取材です)

## 特別委員会

### 地区センターを核に 中心市街地活性化の拠点に 庁舎跡地特別委員会報告

「川西町地域振興拠点施設整備基本計画」策定時の検証・調査や、小松地区地域振興協議会および川西町商工会との意見交換会、特別

委員会全体で確認を行い、意見の集約や調査等をまとめた。まちづくりの推進や中心市街地の活性化を図る施設整備は、町民のみならず、町外からも老・若・子・男・女が集い、賑わえる複合的な施設整備が求められる。

い、また、来町者をもてなす観光窓口機能を付加し、街なか人に呼び込み、交流を拡大する可変性のある施設整備の工夫が必要とした。



旧庁舎を含めた中心市街地活性化の計画を

基本計画では交流センターを核に「集い」、「交流」による賑わいを創出する屋外機能を重視した計画となっているが、本特別委員会では、こうした機能に加え、町民の生涯学習空間の確保と若者(高校生など)や高齢者、子育て世代が気軽に集

有利な財源確保や、旧庁舎及び中央公民館の一括解体で事業費の圧縮を図る。また、跡地内の配置では、駅前通りなどの進入路の整備等、周辺の土地利用を含め将来展望に立ったランドデザインの樹立に努めるべきとし、調査結果の報告とした。引き続き、発展的に「中心市街地活性化調査特別委員会」を新たに設置した。

**議会活性化特別委員会**  
①DX推進(P17参照)  
議会におけるオンライン会議等の実施に向けた取り組み、規定等を検討した。  
②議員定数  
11月中旬に各団体との意見交換会を開催し、議員定数および議員報酬等について意見開陳を行う予定である。  
③議場への町旗掲揚  
議場への町旗・国旗掲揚について協議中である。

**主要地方道米沢飯豊線菅沼峠整備に関する特別委員会**  
中津川地区、玉庭地区の期成同盟会と川西町議会、町行政と連携し、置賜、村山地区選出の県議会議員に要望活動を行った。  
県議会予算特別委員会において、菅沼峠整備の質問が出された。道路改良整備の早期実現に向けて、県や関係機関に要望活動をしていく。

**置賜農業高等学校存続に関する特別委員会**  
新畜舎の見学を兼ね、学校長や関係者との意見交換を執り行った。地元学校なのに、活動内容を知らない人が多い。地域全体でコミュニケーションを共有し協力を得ていきたい。

# 町民の声

議員が出向いて取材をさせていたいただいた内容を掲載します。

## ◇ プロフィール ◇

島貫 忍さん(しまぬきしのぶ)  
川西町大字洲島  
家族構成は、夫 子供3人 両親  
趣味は、家族でドライブ

### 川西の地に嫁いできて

高島町和田から嫁いできて、今年で23年目になります。現在は夫婦で経営している(有)島貫メンテナンスで、業務用冷凍機、空調設備から一般空調設備の取り付けや修理の現場での手伝いや、事務の仕事をしているが、主婦業もやっています。

○ **出逢いのきっかけ** は？

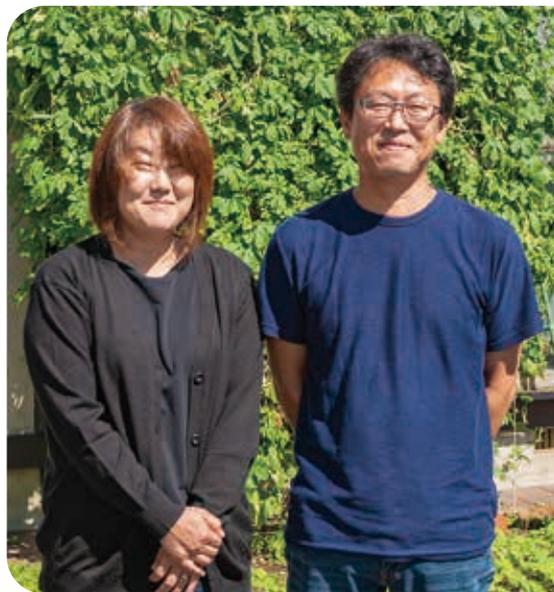
忍さん…ツーリング仲間でした。知りました。智実さん(夫)…バイクでツーリングする仲間たちと、ワイワイして意気投合しました。

○ **川西町の印象はどうですか？**

忍さん…高島町と田園風景などが同じなので変わり映えはしませんでした。

○ **休暇はどう過ごされていますか？**

忍さん…素早く主婦業



人生のツーリングは楽しく

をやり、時間をつくって夫とドライブに行き、観光名所を見て地場のおいしい物を食べます。

○ **地域の交流はどうされていますか？**

運動会やお祭り、感謝の集いなどいろいろ参加して、名前を覚えてもらい、特に下の名前でも呼んでもらうと、親しみがわき嬉しく思います。

○ **コロナ禍で仕事の影響はどうですか？**

智実さん…仕事量は少なくなり、製品や材料の入荷遅延があり、さらに値上げがあり大変ですが、今が踏ん張

りどころと思ひ頑張っています。

○ **川西町に要望等ありますか？**

忍さん…子育ても終わり一段落していますが、各種の手続きや証明書が必要な時期に、月に一日でいいので土曜日を開庁してもらいたいです。

智実さん…職場が町内だけでなく置賜一円なので、通勤に楽な職場の近くに家を求めている現状です。働く場所を多くして、住居も求めやすくするように努力してもらいたいです。

## 編集の後で

▼令和2年度の決算審査を行った9月議会。補助金等、財源の有効活用と、きめ細かな単独の支援対策が求められている▼議会だより前号からの新企画「街かどインタビュー」第2弾では、祝日のダリヤ園で広聴活動を行った▼直接町民のみならずから意見・要望等、お話を聴くという目玉の企画に自然に力が入る▼町民登場の誌面がきっかけで気軽に手に取って読んでもらえたらうれしい。

(明子)

- 発行責任者 鈴木 幸廣
- 委員長 橋本 欣一
- 副委員長 遠藤 明子
- 委員 伊藤 進
- 同 伊藤 寿郎
- 同 寒河江 司
- 同 井上 晃一
- アドバイザー(文章) 佐々木 賢一
- アドバイザー(写真) 山田 順一
- 齋藤 文夫